

平方根 - 1

『平方根』・・・「ある数 a (小) を 2乗すると A (大) になると、 a を A の平方根という」

$$(+2)^2 = 4 \quad \text{「プラス } 2 \text{ の } 2\text{乗} \text{ は } 4 \text{ 」である。}$$

$$(-2)^2 = 4 \quad \text{「マイナス } 2 \text{ の } 2\text{乗} \text{ も } 4 \text{ 」である。}$$

これを逆から考えれば『2乗して4になる数は、+2と-2の二つ』ということになる。

これを『4の平方根は+2と-2』という言い方で表現する。

つまり『4の平方根』は、「 $2 \times 2 = 4$ 」だから『2』という数字が出てくる。
にん がし

平方根 その数

4の平方根

平方根を表記するとき、イコールで表すことができない。

『根号』・・・「平方根が整数にならないときは、 “ ” (ルート) の記号を使って表す」
(掛け算九九に無いとき)

9の平方根

16の平方根

2の平方根

5の平方根

『平方根』は、数字は1つでもプラスとマイナスの2種類がある。“±”と、まとめて表記する。

“ $\sqrt{-3}$ ”という数はない。(2乗したら必ずプラスになるから)

ところが高校生になると2乗してもマイナスになるという“想像上の数”が出てくる。“虚数”という。

1, 次の数の平方根を求めなさい。

9

36

64

答

答

答

100

1

16

答

答

答

3

7

0

答

答

答

15

26

37

答

答

答

30

400

25

答

答

答